

# 山崎豊子先生

山崎豊子先生は、「白い巨塔」や「不毛地帯」など、様々な有名作品を書いています。それにしても**黒い**。

ドラマを観てると、だんだん小布になってきます。「これが人間か。」って思ってしまう。

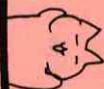
白い巨塔はドラマ再放送していて、不毛地帯はずいぞう!!

なんか... まじ小布...



# 後記。

たいやきって、ほんと、しなせぬ形してると思うのです... (おすけ「たいやき三昧」 [J596.3.マ])  
 んでなくて、もう後記を書くのももう最後です。ひいなが縁から書かせたもうようになっ、もう2年ちよと...?  
 時の流れ、(おや! 毎回毎回しめりぎりぎりにだしたり至らない作成者でしたが、うれしく書かせていただきました。  
 担当のSew Tsew Sewのみな様をくたさってありがとございました!  
 では ごきげんよう!



なのちゃ  
(ちねこM:)



稲城市立図書館

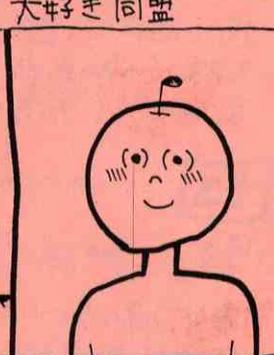
# ポルターダ No.13

AUTUMN  
 秋ですな。

いやあ~ 秋といえばやはり食欲の秋ですよな。  
 わたしは「さつまいもごはん」が大好きです。⊗  
 というか、火吹きこみごはんが好きなのです。⊗  
 五目ごはんとか えだまめごはんとか  
 かにごしんとか... ごはんに味がついて  
 いるところがいいですよな~♪ ☆Mi☆



編集者 ☺



# としがん スタッフより

ボランティアのみなさん、長い間ありがとうございました。  
 原稿の用紙、もうたいていすけど...  
 たんて言われちゃう。気のきかたに担当で「ごめん(ゴ)」  
 高校に入ってから、ぜひ図書館で会いましょう! (S)



ありがとう

みなさん、お疲れさまでした。  
 今まで本当にありがとうございました!  
 今後のご活躍を応援していますね。(T)

この「ポルターダ」をいっしょに作る中高生の方を募集中で「あ! 興味のある方は、カウンター、電話、下記 E-mail にてお問い合わせ下さい。ひとりでもグループでも OK です。ご参加、お待ちしております!

YA 広報誌「ポルターダ」No.13  
 2009年11月30日  
 稲城市立中央図書館 発行  
 TEL: 042-378-7111  
 E-mail: inagi.lib@library.inagi.tokyo.jp

画 白こと  
 なのちゃ

屋ドラが好きな  
 Mi

ふりかえるところには...  
 梅津

とってまキョート  
 R.M.T

# ブリーク

ショートショート  
セレクション 星新一

この本は、小さい頃いのはま、  
と読んでいた本です。そのときに  
あ、こゝくおもしろく。もう一回  
読みたいのにとどんな題名が  
覚えてなくて、探しています。だから  
もう一度読み直そうと思っ  
ています。この本はオチが  
と、とてもおもしろいぞ。

BAA



## 風が強く吹いている

三浦しをん [V913.6.3]

最近映画化もされた青春小説!

同じ学生寮に住んでいる10人で箱根駅伝に  
出陣! みたいなお話です。

10人の個性とか、話の展開にぐいぐい引きこま  
れます。この本の影響でお正月に駅伝が見た  
な、ちゃうがもろ、あ、まりさあやがです。

td さびにおすすめ!

「昔音」 藤井重里、南伸坊

おじさん達のゆるい雑談集。

(ほんとに、なんでもないんだけど) おもしろい。

大人、っていいな、って思う本。 なのちや

# 元寇

Y913.6.ナ

今日から都会デビューの竜々峰帝人。  
友達に誘われ、池袋の学校に  
入学することに!

「折原臨也と平和島静宏...」

あの2人とは関わりがない方がいい。

「池袋には、ある都市伝説があるんだ。」

デュラン  
首なしライダーだよ。

池袋は今、歪んでいる。

只今全6シリーズ!!

バックーノ! もよろしく!!



大女子きだったツァーパン

をなくしてしまい、

かなりヘコんでいる Mi

です... (518) 最近ついてない

なあ〜。というか物忘れがひどいのか...

今の私のゲームは「江戸」です。ということで

江戸の浮世絵の本を紹介しまあ!

こんなに楽しい江戸の浮世絵

辻惟雄 監修 [721.8ア]

浮世絵は、美人画の着物の柄がすごく

凝っていてきれいでよなな江戸の男が

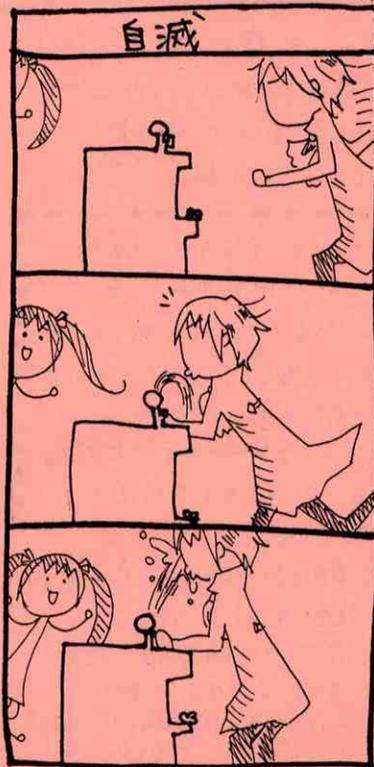
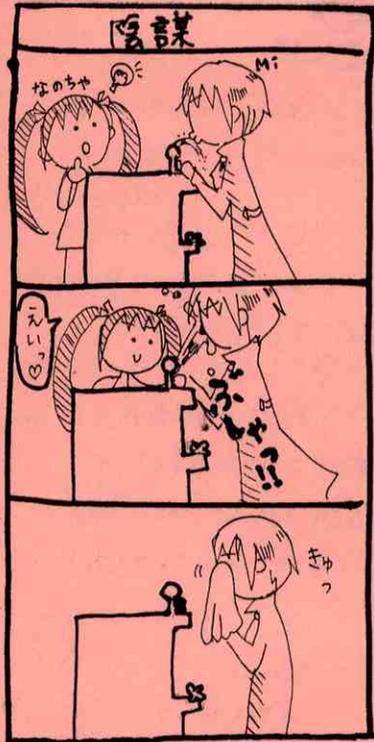
ファッションのお手本にすることもあったようで

雑誌やポスターの役割もしていた

そうです。4コママンガのような

面白い浮世絵 (風刺している) も

あります。



# 私たちの旅はまだまだつづく...

To Be Continue...

なのちや: なにか変なタイトルから始まりましたけど  
つまりここ女校です、私達受験生なのぞ  
この号でポルターダ書くのは最後ってことです。

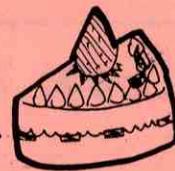
Mi: おなかすいたよう(泣)

婆: そんなこといわずに。というがこの題名。  
どろかぞ聞い戸ことあるような...

な: 某ポケットに入るモンスターのやつです。  
なんかある? ポルターダ書いての思い出とか、言いたに比べて

Mi: ポルターダをやっていて手に入れたことは  
ですね...。そう! 一発がきの能力!

婆: それでいいことなのか悪いことなのか  
わかんないんが(汗)ど。  
うちは本をよく読めようにな  
な、な気がする。



Mi: ああ、確かに そうですね〜。

な: ありとその時のテンションで書いたよな。  
特に1ページ目が。

Mi: 1ページ目は私がすごく頑張っていましたよ!

な: うん、千コマとかね。それに話は、

言いたいことという、5〜6、みなさん図書館使えば  
いいのにな、って思う。(口舌がもあふ)

婆: (ほんとに)よなね。みなさん図書館を使いましょう。

な: それでは。

さようなら! 早退

